

スマイルブックの共有情報は、途切れのない支援を行うために大切です。

スマイルブックの活用法

1. スマイルブックは、保護者が管理するもので、園や学校など関係機関に預け続けることが無いようにしましょう。
2. スマイルブックは、本人への理解と支援のために保護者と支援者が協力し活用していくものです。
3. 保護者と支援者（機関）が合意形成することで、合理的配慮がされます。
4. スマイルブックの作成は、どの年齢から始めても構いません。必要に応じて書類（各種検査結果、医療・療育・園・学校等でもらった資料等）を加えていきましょう。
5. 上手くいかない問題事例より、現在の様子や上手くいった効果的な対応方法などを記入しましょう。
6. 関係機関に持参して、支援や配慮の参考にしてもらいましょう。

スタートセット

1. **スマイルブックの活用法、スマイルブックQ&A**
2. **本人の紹介**
3. **妊娠から出産までのようす、生まれてからのようす**
4. **好きなこと・安心リスト**
5. **ステージシート**
就学前/小学校低・中・高/中学校/高校年齢
6. **記録のページ**

